

News Clip & AV Material

ニュースクリップ&映像教材



■第15回「全国こども科学映像祭」作品募集中

日本視聴覚教育協会、つくば科学万博記念財団、科学技術振興機構、ニューテクノロジー振興財団主催、文部科学省、東京都教育委員会他後援（申請予定）による標記映像祭は、子どもたちの“科学する心”を育てることを目的とし、小・中学生を対象に科学をテーマとしたビデオ作品を募集している。動画の他、写真・イラスト等で構成した連続観察記録（プレゼン作品）でも応募可。詳細はホームページを参照（<http://www.javea.or.jp/kodomo/>）。

文部科学省情報

■「地方自治体の教育の情報化推進事例—ICT活用教育アドバイザー派遣—」報告書の公表

文部科学省では、平成27年度より、ICT環境の整備を図ろうとする自治体のニーズに応じて、アドバイザーを派遣し、ICTを活用した教育の推進計画やICT機器整備計画の策定等の在り方について助言を行い、マニュアルの作成等を行う「ICT活用教育アドバイザー派遣事業」を実施し、その取組を報告書にまとめた。平成27年度は、5つのアドバイスターマを示し全国自治体の教育委員会から募集し、31自治体のニーズに応じてアドバイザーを派遣した。ICTを活用した教育の推進計画やICT機器整備計画作成に当たっての課題や留意事項、解決方法等を整理・分析し、「教育の情報化推進事例」として取りまとめた。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1370125.htm

〈問い合わせ先〉 生涯学習政策局情報教育課

TEL 03-5253-4111（代表）

AV情報

■文化庁「平成28年度著作権セミナー」

文化庁では、著作権に関する基礎的な理解を深め、もって著作権制度の知識や意識の向上を図ることを目的に標記セミナーを開催する。

〈期日・会場〉 以下、全国14か所。

○平成28年7月26日（火）青森県総合社会教育センター（青森県青森市荒川藤戸119-7）

○平成29年1月25日（水）宮城県庁講堂（仙台市青葉区本町3-8-1）

○平成29年2月3日（金）群馬会館（群馬県前橋市大手町2-1-1）

○平成28年10月21日（金）千葉市生涯学習センター（千葉市中央区弁天3-7-7）

○平成28年7月29日（金）新潟県立生涯学習推進センター（新潟市中央区女池南3-1-2）

○平成28年11月8日（火）石川県地場産業振興センター（石川県金沢市鞍月2-1）

ブックレビュー



「未来を拓く教師のわざ」

生田孝至、三橋功一、姫野完治
編著
一莖書房 発行
2016年3月28日刊 A5判
232頁
2,000円(税別)

本書は教育方法を学ぶ大学生や大学院生用のテキストとして作られた。おおそ教科書や学習テキストに面白いものはないが、これは違う。面白くてためになる。もっと早く世に出ていれば教育方法に関心を持つ学生が少しは増えていただろう。本書では「教育技術」という用語を使わず「教師のわざ」としている。ここで読者の知的好奇心が呼び起こされる。まず、教育工学研究のプロ集団が「わざ」などといった曖昧な用語をあえて使い教育実践に迫ろうとしている。これが面白い。「わざがそれほど単純で容易に伝達できるものでもないことを承知の上で、開いた系と閉じた系を

合わせて、わざ、を説明するよう努めたつもりである。」とある。なるほど。思うに、ここでいう「わざ」とは教師の向上の変容の産物である。それを解き明かすには、よほど教師の行動や特性を知り尽くした研究者でなければならぬが、生田孝至氏が編著者の代表とあれば合点がいく。かなり個人的な感想だが、第10章 写真・映像から学ぶ「一プロによる実践記録の特性」はことのほか面白くためになる。いまや齋藤喜博の名前すら知らない教師が多数を占める時代となった。本章では、その齋藤喜博らの教育実践が当時の写真や映像に基づき紹介されている。「山の子ども」の授業に取り組んだ齋藤喜博はもとよりその授業の復元に挑まれた井上光洋氏はまぎれもない教育の職人である。齋藤喜博の「わざ」をよみがえらせたのは井上氏の「わざ」であり功績である。そこに着目した生田氏らの真摯な取組には心から敬意を表したい。本書のタイトル『未来を拓く教師のわざ』における「未来」は、写真集『未来誕生』の「未来」を意識されてのことか？ 今度、生田氏にお目にかかったら、ぜひともお尋ねしてみたいことである。
(淑徳小学校長 多田元樹)

○平成28年12月16日(金) 岐阜県庁舎大会議室他(岐阜県岐阜市藪田南2-1-1)

○平成28年11月25日(金) アクトシティ浜松(浜松市中区板屋町111-1)

○平成29年1月20日(金) ウイルあいち(名古屋市中区上野町1)

○平成28年8月5日(金) 鳥取県立倉吉未来中心(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)

○平成28年9月12日(月) しまなみ交流館(広島県尾道市東御所町10-1)

○平成28年11月11日(金) 山口県総合保健会館(山口県山口市吉敷下東3-1-1)

○平成28年8月29日(金) 愛媛県生涯学習センター(愛媛県松山市上野甲650)

○平成28年9月6日(火) 高知教育会館高知城ホール(高知県高知市丸ノ内2-1-10)

詳細は、下記を参照のこと。

http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seminar/h28/seminar_yoko.html

〈問い合わせ先〉文化庁長官官房著作権課著作権普及係 TEL 03-5253-4111(内線3169)

■「教員のための博物館の日」

教員が博物館に親しみをもち、博物館の上手な活用法を知ることが目的に、国立科学博物館ほか、各地の博物館において「教員のための博物館の日」を開催する。

〈内容〉常設展示無料見学、授業に役立つ展示解説、出前授業の体験など。平成28年6月15日(水)千葉県立中央博物館を始め、全国26地域の博物館において開催予定。詳細は、下記を参照のこと。
<http://www.kahaku.go.jp/learning/leader/mday/index.html>

〈問い合わせ先〉国立科学博物館 事業推進部学習(学校連携担当)

TEL 03-3822-0111(代表)

コンクール情報

■第43回日本賞 教育コンテンツ国際コンクール 作品募集

NHKでは、音と映像を用いた教育コンテンツ

の質の向上を図ることにより、世界の教育メディアの発展に資するとともに、国際的な理解と協力に貢献することを目的に標記コンクールを実施する。募集要領は以下のとおり。

〈応募資格〉 応募作品の著作権を有する放送事業者、映像制作プロダクション、コンテンツ制作プロダクション、教育研究機関、非営利活動団体等。個人による応募は受け付けない。

〈カテゴリー〉 ①幼児、②児童、③青少年、④一般、⑤クリエイティブ・フロンティア

〈応募対象〉 テレビ番組、映画、ビデオ作品、ウェブサイト、ゲーム、アプリケーションソフトウェア、クロスメディアコンテンツ。

〈賞〉 グランプリ日本賞、各カテゴリー最優秀賞、特別賞等。

〈締切〉 平成28年6月30日(木) 23時59分(日本時間) 必着。

〈問い合わせ先〉 日本賞事務局

TEL 03-3465-6199

学会情報

■ 日本情報科教育学会第9回全国大会

高校普通教科「情報」を中心に、中等教育と高等教育の接続性も踏まえた情報教育分野を研究対象とする日本情報科教育学会では、「情報科に求められる教育と情報科が目指すべき教育」をテーマに標記大会を開催する。

〈日時〉 平成28年6月25日(土) 10:00~18:00、26日(日) 9:30~16:45

〈会場〉 刈谷市産業振興センター(愛知県刈谷市相生町1-1-6)

〈内容〉 招待講演「高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体改革について(仮題)」新津勝二氏(文部科学省生涯学習政策局情報教育課情報教育振興室長)、「次期学習指導要領と情報科教育」鹿野利春氏(国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官)、研究発表等。

〈問い合わせ先〉 日本情報科教育学会事務局

TEL 03-5155-7576

各地の情報

■ 「JMOC活用事例—大学のMOOC活用—」

ワークショップ

日本オープンオンライン教育推進協議会では、「大学におけるMOOC活用の導入事例—AO入試・入学前教育・通常授業でのMOOC導入へのチャレンジ—」をテーマに標記ワークショップを開催する。

〈日時〉 平成28年6月28日(火) 13:30~16:30

〈会場〉 内田洋行大阪ユビキタス協創広場 CANVAS(大阪市中央区和泉町2-2-2)

〈内容〉 「MOOCの最新動向—欧米・アジアでのMOOCの動きから—」、大学事例紹介等。

〈問い合わせ先〉 JMOC事務局

Mail jmooc100@jmooc.jp

文部科学省選定作品

■ 4月選定 DVD

「挑む 菊池省三 “白熱する教室” 第一部」

 96分、〈青年、教養〉(有)オフィスハル

「絶景 ジオパーク—地殻変動から見る日本列島—

第1巻 隠岐世界ジオパーク/洞爺湖有珠山ジオ

パーク」 48分 〈青年・成人、教養・情操(自然科学)〉(株)トーキョーヴィジョン

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

短信

■ 文部科学省生涯学習政策局情報教育課の異動 平成28年5月15日付

○教育情報施策調整係長 塩野景子氏→退職

平成28年5月18日付

○内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付参事官(国際担当)付主査付 竹谷政彦氏→教育情報施策調整係長

■ 訃報

元文部事務次官、全国放送教育研究会連盟理事長の三角哲生氏が平成28年4月15日ご逝去された。享年89歳。

一般財団法人日本視聴覚教育協会顧問、元文部省主任社会教育官の高村久夫氏が平成28年4月27日ご逝去された。享年86歳。